

平和運動取材47年を顧みて

2013年11月30日

岩垂 弘 (ジャーナリスト、PCJF代表運営委員)

I 原水禁運動を追い続けて

- 1 スタートは長崎から
- 2 原水禁運動の発生と高揚
- 3 その背景にあったもの
- 4 運動の低迷から停滞・後退へ
- 5 なぜそうなってしまったか
- 6 主役交代へ——重み増す自治体

II 平和・協同ジャーナリスト基金（PCJF）の設立へ

- 1 マスメディアの平和報道への反省から
- 2 基金活動の内容と19年間の実績
- 3 基金活動から見えてきたもの——これからの課題

III 憂慮すべき平和報道の現状

- 1 衰退するマスメディアの平和報道
- 2 健闘する地方紙
- 3 被爆地の平和報道に期待する